

関西電力グループ中期経営計画達成に向けた重点取組み（2018）の概要

【当社グループを取り巻く経営環境】

○平成29年度の取組みとして、総合エネルギー事業では、厳しい競争環境のなか販売電力量は減少したものの、高浜発電所3、4号機の運転再開による電気料金の値下げや、電気とガスのセット販売などにより、「eおとくプラン」などの電気の自由料金メニューのご利用が拡大するとともに、「関電ガス」の申込みは、自由化初年度目標20万件以上の2倍にあたる40万件を超えました。さらに、情報通信や不動産をはじめとするグループ事業の展開などにより、中期経営計画2年目として着実に前進を続けた1年となりました。

⇒計画の最終年度を迎えるにあたり、市場や政策の動向、デジタル技術の進展など、経営環境の変化をチャンスと捉え、取組みにスパートをかけて時代の先端を切り拓くべく、このたび、4つの重点取組みをとりまとめました。

<4つの重点取組み>

【重点取組みの策定にあたって】

○電力の安全・安定供給をはじめとするお客さまと社会のお役に立つ使命の全うや、新たな価値の創造等の取組みを通じて、お客さまや社会の皆さまから賜る信頼が当社グループの基盤であるとの認識のもと、「安全最優先」と「CSRの全う」を基本姿勢とし、重点取組み（2018）を実行します。

（1）お客さまにお選びいただく

～総合エネルギー事業におけるあらゆるトップライン向上策の実践

- ご家庭のお客さまへのオール電化や、電気と「関電ガス」をセットにした「なっトクパック」のご提案、法人のお客さまへの電気にガスとグループサービスを組み合わせたトータルエネルギー提案活動の推進に加え、首都圏をはじめ関西圏以外への電力販売や卸販売のさらなる拡大などに積極的に取り組みます。
- 高浜発電所3、4号機の安全・安定運転を継続するとともに、大飯発電所3、4号機の再稼動による電気料金の値下げを実現します。
- また、原子力プラントの40年以降の運転に関する安全対策工事を着実に実施するとともに、廃止措置プラントの工事を安全かつ効率的に進めます。

(2) トップレベルの生産性を目指す ～コスト構造改革のあくなき追求

- 「発電・ガス製造」、「流通」、「販売」、「運用・保守・保全」といった各プロセスや、調達をはじめ管理部門などあらゆる業務において、デジタル技術なども活用しながらトップレベルの生産性を目指します。

(3) 国際・グループ事業に加え、新たな事業領域にも挑み、さらなる成長可能性を追求する

- 国際事業では、東南アジアや北米、欧州などへのさらなる展開や再生可能エネルギーや送配電事業への参画など、投資する地域や対象を拡大します。
- 情報通信事業では、F T T Hサービス「e o 光」については「e o 電気」や「関電ガス」とのセット販売で、お客さま満足度を高めるとともに、携帯電話サービス「m i n e o」について、今後、契約数200万件突破を目指します。
- 不動産事業では、関西・首都圏での着実な事業展開に加え、米国などでのビル事業や東南アジアでの住宅事業など、海外事業をさらに拡大していきます。
- さらに、イノベーションや新規事業の取組みとして、ベンチャー企業への出資による事業機会の創出や、バーチャルパワープラントシステム構築の加速、送配電設備を活用した見守りサービスの展開など、当社の強みを活かしつつ他社との連携などを通じ、新たな事業領域に挑み、さらなる成長の可能性を追求します。

(4) 持続可能な経営を支える盤石な基盤を構築する

- 送配電事業の分社化という変化に対応しつつ中期経営計画実現に向けた取組みを一層加速する体制を整備するとともに、「働き方」改革と健康経営を組織風土として定着させ、引き続き、「人を大切にする経営」を実践します。

以 上